

体 育

1 学習指導要領改訂の趣旨

平成28年12月の中央教育審議会答申を踏まえ、改善の方向性が以下のとおり示された。

- ・ 体育科で求められる資質・能力を踏まえ、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」（資質・能力の三つの柱）の育成を重視し、体育科及び各科目の目標と内容の構造の見直しを図ること。
- ・ 「する、みる、支える、知る」などのスポーツの多様な楽しみ方を実践する資質・能力の育成を重視する観点から内容の充実を図ること。
- ・ 生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力の育成を重視する観点から内容の充実を図ること。

2 改訂の内容

(1) 教科の目標の改善

【体育科の目標】		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けるようにする。	スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

目標において、従前、スポーツの「振興発展」としていたものを、スポーツの「推進及び発展」とした。このことは、従前の高度な技能の習得を中心として社会におけるスポーツを牽引していくことばかりでなく、体育の見方・考え方を働かせ、「する、みる、支える、知る」などのスポーツへの多様な関わり方を自ら実践することを通して、社会における人々の生涯を通じたスポーツの諸課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けて共に関わろうとする意味を強調したものである。

(2) 科目の改善

ア 科目構成

改 訂		現 行	
科 目 名	標準単位数	科 目 名	標準単位数
スポーツ概論	設置者の定めるところによるものとする。	スポーツ概論	設置者の定めるところによるものとする。
スポーツⅠ		スポーツⅠ	
スポーツⅡ		スポーツⅡ	
スポーツⅢ		スポーツⅢ	
スポーツⅣ		スポーツⅣ	
スポーツⅤ		スポーツⅤ	
スポーツⅥ		スポーツⅥ	
スポーツ総合演習		スポーツ総合演習	

イ 各科目の特徴

<スポーツ概論>

【スポーツ概論の目標】		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。	スポーツの推進及び発展についての自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組む態度を養う。

(ア) 内容

この科目は、(1)スポーツの文化的特性や現代におけるスポーツの発展、(2)スポーツの効果的な学習の仕方、(3)豊かなスポーツライフの設計の仕方、(4)スポーツの多様な指導法と健康・安全、(5)スポーツの企画と運営の5つの指導項目で構成。

(イ) 内容の取扱い

- ・指導項目の(1)から(5)までの各項目とも扱うものとする。
- ・指導に当たっては、「スポーツ概論」の学習成果が「スポーツⅠ」、「スポーツⅡ」、「スポーツⅢ」、「スポーツⅣ」、「スポーツⅤ」、「スポーツⅥ」及び「スポーツ総合演習」の各科目における学習と密接に関連していることに配慮するものとする。

<スポーツⅠ>

【スポーツⅠの目標】		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
採点競技及び測定競技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	採点競技及び測定競技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	採点競技及び測定競技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

(ア) 内容

この科目は、(1)採点競技への多様な関わり方、(2)測定競技への多様な関わり方の2つの指導項目で構成。

(イ) 内容の取扱い

- ・指導項目の(1)又は(2)のいずれかを選択して扱うことができる。
- ・指導項目の(1)については、体操競技を、(2)については、陸上競技、水泳競技の中から適宜取り上げるものとし、スキー、スケート等についても、学校や地域の実態に応じて扱うことができる。

<スポーツⅡ>

【スポーツⅡの目標】		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
球技の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	球技における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	球技の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

(ア) 内容

この科目は、(1)ゴール型球技への多様な関わり方、(2)ネット型球技への多様な関わり方、(3)ベースボール型球技への多様な関わり方、(4)ターゲット型球技への多様な関わり方の4つの指導項目で構成。

(イ) 内容の取扱い

- ・指導項目の(1)から(4)までの中から一つ以上を選択して扱うことができる。
- ・指導項目の(1)については、バスケットボール、ハンドボール、サッカー、ラグビーの中から、(2)については、バレーボール、卓球、テニス、バドミントンの中から、(3)については、ソフトボール、野球の中から、(4)については、ゴルフを適宜取り上げるものとし、その他の球技についても、学校や地域の実態に応じて扱うことができる。

<スポーツⅢ>

【スポーツⅢの目標】		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
武道及び諸外国の対人的競技等の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	武道及び諸外国の対人的競技等における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	武道及び諸外国の対人的競技等の学習に主体的に取り組むとともに、伝統的な行動の仕方、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

(ア) 内容

この科目は、(1)武道への多様な関わり方、(2)諸外国の対人的競技への多様な関わり方の2つの指導項目で構成。

(イ) 内容の取扱い

- ・指導項目の(1)又は(2)のいずれかを選択して扱うことができる。
- ・指導項目の(1)については、柔道、剣道、相撲、空手道、なぎなた、弓道、合気道、少林寺拳法、銃剣道の中から、(2)については、レスリングを適宜取り上げるものとし、その他の武道等についても、学校や地域の実態に応じて扱うことができる。

<スポーツⅣ>

【スポーツⅣの目標】		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ダンスの推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	ダンスにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	ダンスの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

(ア) 内容

この科目は、(1)創造型ダンスへの多様な関わり方、(2)伝承型ダンスへの多様な関わり方の2つの指導項目で構成。

(イ) 内容の取扱い

- ・指導項目の(1)又は(2)のいずれかを選択して扱うことができる。
- ・指導項目の(1)については、創作ダンス、現代的なリズムのダンスの中から、(2)については、フォークダンス、社交ダンスの中から適宜取り上げるものとし、その他のダンスについても、学校や地域の実態に応じて扱うことができる。

<スポーツⅤ>

【スポーツⅤの目標】		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
自然との関わりの深い野外の運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	自然との関わりの深い野外の運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	自然との関わりの深い野外の運動の学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

(ア) 内容

この科目は、(1)自然体験型の野外の運動への多様な関わり方、(2)競技型の野外の運動への多様な関わり方の2つの指導項目で構成。

(イ) 内容の取扱い

- ・指導項目の(1)又は(2)のいずれかを選択して扱うことができる。
- ・指導項目の(1)については、キャンプ、登山、遠泳などの水辺活動の中から、(2)については、スキー、スケートの中から適宜取り上げるものとし、その他の運動についても、機械等の動力を用いない活動を中心に、学校や地域の実態に応じて扱うことができる。
- ・特定の期間に集中的に校外で授業を行う場合は、安全対策に十分配慮するものとする。

<スポーツⅥ>

【スポーツⅥの目標】		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
体づくり運動の推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、技能を身に付ける。	体づくり運動における自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯体づくり運動の学習に主体的に取り組むとともに、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与する態度を養う。

(ア) 内容

この科目は、(1)体づくり運動への多様な関わり方、(2)目的に応じた心身の気付きや交流を深めるための運動の仕方、(3)ライフステージ及びライフスタイルに応じた体操や運動の計画の立て方の3つの指導項目で構成。

(イ) 内容の取扱い

指導項目の(1)を入学年次で扱うものとし、指導項目の(2)及び(3)はその次の年次以降で扱うこととする。

<スポーツ総合演習>

【スポーツ総合演習の目標】		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付ける。	スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための課題研究に主体的に取り組む態度を養う。

(ア) 内容

この科目は、(1)スポーツの多様な理論や実践に関する課題研究、(2)スポーツの多様な指導や企画と運営に関する課題研究、(3)スポーツを通じた多様な社会参画に関する課題研究の3つの指導項目で構成。

(イ) 内容の取扱い

- ・指導項目の(1)から(3)までの中から一つ以上を選択して扱うことができる。
- ・指導に当たっては、「スポーツ概論」との関連を図るとともに、「スポーツⅠ」から「スポーツⅥ」までの学習成果を生かし、関係団体等との協力、連携の機会を通して、知識及び技能、思考力、判断力、表現力等、学びに向かう力、人間性等のバランスのよい育成に配慮するものとする。

(3) 専門教科の体育科の科目及び内容と内容の取扱い

科目及び内容	内容の取扱い			
	入学年次	その次の年次	それ以降の年次	各科目
【スポーツ概論】	必修	必修	必修	(1)～(5)必修
(1) スポーツの文化的特性や現代におけるスポーツの発展				
(2) スポーツの効果的な学習の仕方				
(3) 豊かなスポーツライフの設計の仕方				
(4) スポーツの多様な指導法と健康・安全				
(5) スポーツの企画と運営				
【スポーツⅠ】	スポーツⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳから①以上選択	スポーツⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳから①以上選択	スポーツⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳから①以上選択	(1)又は(2)を選択
(1) 採点競技への多様な関わり方				
(2) 測定競技への多様な関わり方				
【スポーツⅡ】				
(1) ゴール型競技への多様な関わり方				
(2) ネット型競技への多様な関わり方				
(3) ベースボール型競技への多様な関わり方				
(4) ターゲット型競技への多様な関わり方				
【スポーツⅢ】				
(1) 武道への多様な関わり方				
(2) 諸外国の対人的競技への多様な関わり方				
【スポーツⅣ】	(1)又は(2)を選択			
(1) 創造型ダンスへの多様な関わり方				
(2) 伝承型ダンスへの多様な関わり方				
【スポーツⅤ】	必修	必修	必修	(1)又は(2)を選択
(1) 自然体験型の野外の運動への多様な関わり方				
(2) 競技型の野外の運動への多様な関わり方				
【スポーツⅥ】	必修	必修	必修	(1)は入学年次(2)及び(3)はその次の年次以降
(1) 体づくり運動への多様な関わり方				
(2) 目的に応じた心身の気付きや交流を深めるための運動の仕方				
(3) ライフステージ及びライフスタイルに応じた体操や運動の計画の立て方				
【スポーツ総合演習】	必修	必修	必修	(1)～(3)から①以上選択
(1) スポーツの多様な理論や実践に関する課題研究				
(2) スポーツの多様な指導や企画と運営に関する課題研究				
(3) スポーツを通じた多様な社会参画に関する課題研究				